

発熱時の医療機関のかかり方について

医療機関に行く前に

- ① 症状や、常備薬を確認しましょう。
- ② 新型コロナウイルスを疑う場合
→国が承認した新型コロナウイルス抗原検査キットが販売されており、自宅で検査が可能です。

【コロナ陽性の場合】

- ・症状が軽い場合は自宅療養です。
(発症後5日間を経過かつ症状軽快から24時間経過するまで)
- ・受診が必要場合：高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦などの重症化リスクが高い方や、症状が重い・長引くなどの場合は医療機関を受診しましょう。

【コロナ陰性の場合】

- ・マスク着用や、手洗い等感染予防対策をしっかりと行いましょう。
- ・偽陰性やインフルエンザなど他の感染症の可能性もあるため、時間を置いての再検査や受診、検査なども検討しましょう。
(発熱後12時間、経過してからの検査が望ましいです。)



医療機関を受診する時は・・・

受診前

- ① 必ず医療機関に問い合わせ、受診可能か確認しましょう。
※多くの病院が一般外来との診察を分けているため事前に連絡しましょう。
- ② いつから、どんな症状かを医療機関に伝えましょう。
(発熱、咳、鼻水、倦怠感、頭痛、下痢、嘔吐等)

受診時

- ① 不織布マスクの着用をお願いします。
- ② お薬手帳を持参してください。
- ③ 当院では発熱がある場合、可能であれば、お近くでもお車で
の受診をお願いしています。



○月△日から体温□□℃あります！
症状は咳と鼻水です。

発熱、咳、鼻水などの風邪症状だけでなく、下痢・嘔吐などの消化器症状などの感染症を疑うときは、必ず受診前に連絡しましょう！！！！

感染症の予防と対策

★正しい手洗い、こまめなアルコール消毒をしましょう。



★マスクの装着

咳やくしゃみをする時はマスク等で口を塞ぎましょう。

医療機関、薬局、高齢者施設では不織布マスクを着用しましょう。



★換気

1時間に2回以上の換気を行いましょう。

目安：30分に1回（数分間、窓を全開にする）



★体調不良のときは外出を控えましょう。

感染を拡大させないためにも、体調不良の時は
自宅で安静にしましょう。

参考引用文献：厚生労働省ホームページ

あかし保健所ホームページ

NHK 出版政策（NHK テキスト「きょうの健康」）